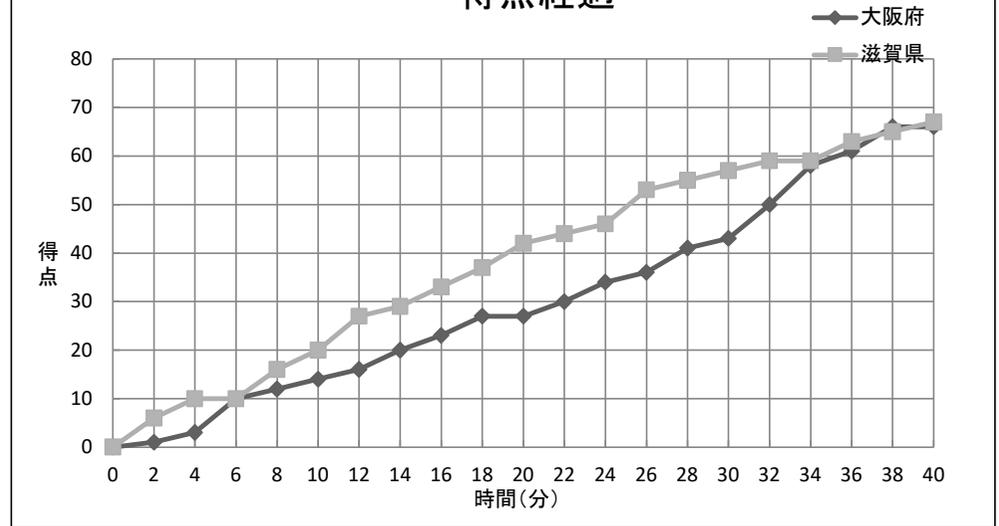


第77回国民体育大会近畿ブロック大会
バスケットボール競技

個人トータル表

成年女子		2022年8月21日		15:00 開始														
決勝		京都市体育館		B コート														
大阪府 66		<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>22</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>10</td></tr> </table>		14	1st	20	13	2nd	22	16	3rd	15	23	4th	10	67		○ 滋賀県
14	1st	20																
13	2nd	22																
16	3rd	15																
23	4th	10																
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則					
* 4	金澤 英果	1	0	0	1	2	* 4	久松 なつき	4	0	2	0	1					
5	大橋 幸奈	2	0	1	0	3	* 5	前田 芽生	4	0	2	0	2					
* 6	清水 咲来	23	6	1	3	4	6	小林 結女	-	-	-	-	-					
* 7	北川 聖 C	3	0	1	1	0	7	中田 鈴香	0	0	0	0	2					
* 8	塩谷 心海	6	0	3	0	1	* 8	岡田 咲恵	6	0	3	0	3					
* 9	福田 希望	0	0	0	0	1	9	宮崎 寧子	17	1	4	6	3					
10	中村 真湖	0	0	0	0	1	10	藤田 夏生	-	-	-	-	-					
11	都野 七海	21	1	8	2	2	* 11	大橋 瑠菜	15	0	5	5	2					
12	熊谷 のどか	10	0	5	0	0	12	山岡 まつり	5	0	2	1	0					
13	仲江 穂果	0	0	0	0	0	* 13	大橋 璃菜	11	0	5	1	0					
14	島袋 椋	-	-	-	-	-	14	岡田 恵衣	3	0	1	1	3					
15	宮城 楽子	-	-	-	-	-	15	伊藤 さつき C	2	0	1	0	1					
16		-	-	-	-	-	16		-	-	-	-	-					
17		-	-	-	-	-	17		-	-	-	-	-					
18		-	-	-	-	-	18		-	-	-	-	-					
コーチ	岸本 里紗						コーチ	藤堂 悠										
Aコーチ	安藤 進也						Aコーチ											
合計		66	7	19	7	14	合計		67	1	25	14	17					
*:スタート 氏名のうしろにC:キャプテン																		
CC: 内田 祥平 (兵庫)						1stアンパイア: 深野木 慧 (兵庫)												
(クルーチーフ)						2stアンパイア: 原田 香菜子 (和歌山)												

得点経過



【戦評】

1Q 大阪④⑥⑦⑧⑨、滋賀④⑤⑧⑩⑬、両チームマンツーマンで試合開始。滋賀は⑤のシュートで幸先よく得点する。対する大阪もインサイドを中心にオフェンスを組み立てるがなかなか得点が決まらない。滋賀は中、外でバランスよく得点を重ね、8対1となったところで大阪はタイムアウト。タイムアウト後、大阪は⑩が連続して得点をし流れを引き寄せる。滋賀は⑧のドライブや⑬のバスケットカウントなどでリードを広げ、滋賀20-14の6点リードで第1Q終了。

2Q 大阪は⑧のインサイドで先制し、滋賀に詰め寄るも滋賀は⑫がバスケットカウントを決めリードを譲らない。滋賀の堅い守りでなかなか得点を決められない大阪に対し滋賀は少しずつリードを広げる。大阪もオールコートでディフェンスをし、簡単には得点をさせずお互い我慢の時間帯が続く。大阪は⑫が鋭いドライブで加点をし、滋賀は⑨が確率よくアウトサイドシュートを沈めていく。42-27と滋賀がリードで前半終了。

3Q 序盤両チームなかなかシュートが入らない時間が続くなか大阪は⑥の3Pや⑤のゴール下などで反撃を試みる。しかしアウトサイドが中心の大阪に対し滋賀はインサイドで力を発揮し⑩のバスケットカウントなどでリードをさらに広げていく。大阪も⑩の3Pなどで必死につながり67-43と滋賀リードで最終Qへ。

4Q 大阪は滋賀のポストに対しダブルチームでプレッシャーをかけボールを奪い⑩の速攻や⑥の3Pなどで残り時間8分で点差を一桁とする。大阪はさらにオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけて連続してスティールをし速攻で点差を1点とするも、滋賀も⑬がドライブなどで得点し逆転を許さない。残り時間3分半で大阪⑫のレイアップで同点とすると⑥の3Pでついに逆転に成功する。その後、1点差で残り時間30秒での滋賀銀行は⑩のドライブでフリースローを獲得し落ち着いて2本決め再逆転する。残り14秒からの大阪のラストシュートが外れ67-66で滋賀の勝利となった。

戦評	谷口 知宏
所属	(一社)京都府バスケットボール協会